

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150380014		
法人名	医療法人好古堂		
事業所名	グループホーム すむのさと		
所在地	佐賀県鳥栖市高田町206番地1		
自己評価作成日	平成31年2月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成31年2月22日	外部評価確定日	平成31年4月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>温泉施設をはじめとする健康・介護・医療の一体的な施設配置を形成し環境資源を活かして、落ち着いたのどかな環境でサービスを提供します。また、地域とのかかわりを大切にし、毎日楽しく笑顔で過ごしていただけるよう支援します。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホームすむのさととは、経営母体の医療機関を中核としユニット型、多床室型の介護老人保健施設とデイサービスが併設されており医療と介護の連携が図られている。その強みを生かし、状態の変化が著しい入居者に対して途切れのない医療、介護サービスの提供が可能となっている。医療機関と連携した研修制度も充実しており職員や施設サービスの質の向上につながっている。立地に関しても国道3号線に隣接し佐賀県鳥栖市と福岡県久留米市の県境に位置しており、アクセスの良さが施設入居者や家族の利便性に寄与している。「地域との関わりを大切にし、毎日楽しく笑顔で過ごしていただけるよう支援します」を理念とし、市内の演芸ボランティアの慰問や職員が地域の行事に参加する等、地域との関わりに努めている。入居者の支援については、トイレでの排泄に力を入れており排泄のパターンを把握し、声掛けを行い必要に応じて支援を行うことで入居者が自らの尊厳を保つ努力がなされている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時、全員で唱和して意識付けをしている。	朝礼時、全員で唱和して意識付けをしている。	全職員が名札の中に理念が書かれた用紙を携えて業務に勤しんでいる。また、朝礼時には出勤職員全員で唱和している。理念を掲示し実践への意識づけとしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事・慰問等を通じて地域への交流を図っている。	行事・慰問等を通じて地域への交流を図っている。	地域の防災訓練時に入居者数名を連れて参加している。また、市内の演芸ボランティアを受け入れ入居者との交流を行っている。職員も地域の行事に参加して地域密着型事業所としての近隣地域との交流に努めている。職員が運営推進会議や行事の案内を直接、区長宅に届け関係作りに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人を通じて出張講座や地域の民生委員の研修受入を行っている。	法人を通じて出張講座や地域の民生委員の研修受入を行っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地元の方や保険者、家族等の意見を取り入れ、可能な限り反映できるように努力している。	地元の方や保険者、家族等の意見を取り入れ、可能な限り反映できるように努力している。	2ヶ月に1回、管理者、地元区長、民生委員、老人会会長、社会福祉課職員、入居者家族参加のもと開催している。施設の運営状況や働きの報告に関し質疑応答がなされている。会議の議事録は参加者全員へ送付している。	

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月に数回訪問し連絡報告を行っている。 鳥栖地区広域市町村圏組合より研修会資料を貰い受けている。	月に数回訪問し連絡報告を行っている。 鳥栖地区広域市町村圏組合より研修会資料を貰い受けている。	市役所や広域を職員が訪問し担当者や情報の交換を行っている。安心相談員を2ヶ月に1回受入れ入居者の意見を施設の運営に反映させている。職員を広域主催の研修会に参加させ、直近ではシーティング(良好な座位姿勢の確保)を入居者支援に取り入れ食事の際は、安全上問題ある入居者以外は車椅子から椅子へ移乗し食事を提供している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の安全確保に配慮し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 職員は理解を深めるべく、身体拘束に関する研修会に参加している。	入居者の安全確保に配慮し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 職員は理解を深めるべく、身体拘束に関する研修会に参加している。	併設の医療機関の研修や施設内研修にて身体拘束のないケアに取り組んでいる。施設がビルの2、3階にあり環境上の観点から日中のみ開錠されているが夜間帯は、施錠されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が参加する虐待についての勉強会を開催し、職員の意識向上に努めている	職員全員が参加する虐待についての勉強会を開催し、職員の意識向上に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内外の研修に参加している	法人内外の研修に参加している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に事務及びフロアスタッフから説明を行い、疑問がある際は納得のいくように説明を行っている	入居時に事務及びフロアスタッフから説明を行い、疑問がある際は納得のいくように説明を行っている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で意見、要望を聞き反映させている	運営推進会議で意見、要望を聞き反映させている	入居者家族に対し運営推進会議や介護計画の作成時、面会時に直接要望を聞いている。受けた要望に関しては、施設や法人内で検討し速やかに対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議、朝礼、個別で聞く機会を設けている	フロア会議、朝礼、個別で聞く機会を設けている	管理者は、月1回のフロア会議や朝礼、終礼時に職員の意見や提案を聞いている。受けた要望に関しては、施設や法人内で検討し速やかに対応している。直近では研修にてシーティングを学んだ職員が食事の際の車椅子から椅子への移乗を提案し実施に結び付いている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個別評価を行い無理のない就業形態を心がけている	個別評価を行い無理のない就業形態を心がけている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員にはプリセプター指導を行っている 法人内外の研修に参加し参加状況を記録、管理している	新入職員にはプリセプター指導を行っている 法人内外の研修に参加し参加状況を記録、管理している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当ホーム内外の研修等を通じて交流の機会を作り、サービスの向上に努めている	当ホーム内外の研修等を通じて交流の機会を作り、サービスの向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に家族より聞き取りを行い日々の会話等から不安等を汲み取っている	入居時に家族より聞き取りを行い日々の会話等から不安等を汲み取っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時の聞き取り、面会時の聞き取り、ケアプランの説明時等に傾聴している	入居時の聞き取り、面会時の聞き取り、ケアプランの説明時等に傾聴している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報提供書を参考にアセスメントを作成し、優先順位をつけている。アセスメントを作成する際は、必ずご本人様に会い、情報収集を行っている。	情報提供書を参考にアセスメントを作成し、優先順位をつけている。アセスメントを作成する際は、必ずご本人様に会い、情報収集を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中でできることを手伝ってもらっている 職員は利用者から学ぶことも多く、お互い寄り添うケアを実践している	日々の生活の中でできることを手伝ってもらっている 職員は利用者から学ぶことも多く、お互い寄り添うケアを実践している		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係を大切にし面会、行事等で意見交換を行っている	家族との関係を大切にし面会、行事等で意見交換を行っている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のかかわりやなじみの方との関係が継続できるよう努めている	地域のかかわりやなじみの方との関係が継続できるよう努めている	自由に面会が可能である。併設の医療機関へ面会に行くことも可能である。また定期的に近隣ボランティアの訪問を受け入居者との交流を行っている。入居者の中には、以前ご自身で管理されていた田畑で収穫した稲穂を飾られている方も見受けられた。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別、少数、全体で不快なく過ごせるよう心がけている	個別、少数、全体で不快なく過ごせるよう心がけている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談窓口を設け支援に努めている	相談窓口を設け支援に努めている		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者のこれまでの生活をもとに検討し、支援している。 半年に1回、プラン見直し時にご本人とご家族のご意向を伺っている。	利用者のこれまでの生活をもとに検討し、支援している。 半年に1回、プラン見直し時にご本人とご家族のご意向を伺っている。	入居時に、これまでの生活歴や本人及び家族の要望を確認している。また入居者との日常の会話や、面会時の家族との会話から思いや意向を確認して入居者の支援に結び付けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、趣味を活かしたサービス提供に努めている	生活歴、趣味を活かしたサービス提供に努めている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	モニタリング、アセスメント、カンファレンスを通じて現状把握に努めている	モニタリング、アセスメント、カンファレンスを通じて現状把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意見を尊重し、反映したケアプランの作成を行っている	ご本人、ご家族の意見を尊重し、反映したケアプランの作成を行っている	状態の変化時やアセスメント時に家族へ来園して頂き現状の報告と、今後の意向の確認を行いケアプランを作成している。作成したケアプランに関しては、月1回の評価を行い現状に即した支援を実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を行い、連絡ノートや申し送りノートの中で情報を共有しケアプランを見直している	個別に記録を行い、連絡ノートや申し送りノートの中で情報を共有しケアプランを見直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に対応できるよう努め、必要に応じカンファレンスを開催しケアプランの変更をしている	要望に対応できるよう努め、必要に応じカンファレンスを開催しケアプランの変更をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	法人内の資源を利用している。四季を感じられるような活動を取り入れている	法人内の資源を利用している。四季を感じられるような活動を取り入れている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	主治医が看護師と連携を密に取り 支援を行っている	主治医が看護師と連携を密に取り 支援を行っている	入居者及び家族が希望するかかり つけ医の受診が可能である。緊急 時は隣接する医療機関で24時間の 受診も可能であり家族の安心に繋 がっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	看護職員を配置して日常的な健康 管理を行っている	看護職員を配置して日常的な健康 管理を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。 。	主治医、看護師の連携が取れてい るので、いつでも相談できるような関 係になっている	主治医、看護師の連携が取れてい るので、いつでも相談できるような関 係になっている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	利用者、家族の意見を尊重し、事業 所での支援に取り組んでいる	利用者、家族の意見を尊重し、事業 所での支援に取り組んでいる	契約時に「重度化した場合における 対応に係る指針」の説明を行っている。 最後は隣接する医療機関で看 取りを行うが、施設で急性期から終 末期直前まで家族の意向に伴い対 応を行い、入居者や家族の意思を 尊重している。	

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、全スタッフが対応できるように指導している	マニュアルを作成し、全スタッフが対応できるように指導している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員の災害研修会には参加しているが、実施までには至らなかった。来年度実施予定。	職員の災害研修会には参加しているが、実施までには至らなかった。来年度実施予定。	同じ建屋内の併設された老人保健施設主体にて火災訓練を行っている。災害の際は防火扉で仕切られた老人保健施設への避難となる。避難の際は居室の表札を裏返すことにより「避難済み」のしるしとなる。入居者、職員の災害食が3日以上備蓄されている。	事業所を拠点とした災害対策訓練が実施されると、より良い災害対策となるので、今後取り組まれることを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、それを念頭において支援している	利用者の人格を尊重し、それを念頭において支援している	併設の医療機関の研修や施設内研修にて接遇の研修を行い入居者の支援に活かしている。居室は全室にトイレが設置されており居室内で排泄の支援を行いプライバシーの確保を行っている。脱オムツ化にも取り組んでおり入居者の尊厳を保てるよう努力している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の生活観を伺いながら自己決定できるような環境づくりを行っている	利用者の生活観を伺いながら自己決定できるような環境づくりを行っている		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がその人らしく過ごせるようノーマライゼーションの考えをスタッフ間で統一している	利用者がその人らしく過ごせるようノーマライゼーションの考えをスタッフ間で統一している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の趣味や希望に沿って支援している	利用者の趣味や希望に沿って支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	片付け食器洗いを一緒にいき、役割と感謝の念をお伝えし、自立支援に向けたケアができるよう支援している	片付け食器洗いを一緒にいき、役割と感謝の念をお伝えし、自立支援に向けたケアができるよう支援している	併設施設の老健で調理を行いグループホームの入居者へ提供している。盛付や下膳、食器洗いを対応可能な入居者と一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に応じた摂取しやすい分量や形態で提供している。	利用者に応じた摂取しやすい分量や形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ムセのある方や口臭の強い方にはケアプランに項目を作り実施している。	ムセのある方や口臭の強い方にはケアプランに項目を作り実施している。		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけトイレでの排泄が続けられるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけトイレでの排泄が続けられるよう支援している	オムツからトイレでの排泄に改善するために入居者一人一人の排泄パターンを把握し排泄支援を行っている。入居当初はオムツを使用していた入居者がトイレでの排泄に移行された方もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ緩下剤の使用を避け水分摂取や運動等で便秘予防に取り組んでいる	できるだけ緩下剤の使用を避け水分摂取や運動等で便秘予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴を楽しんでもいただけるよう支援している	入浴を楽しんでもいただけるよう支援している	週2回の入浴を基本とし、入居者の要望があれば毎日の入浴が可能である。入居者の身体状況により併設の老人保健施設での機械浴での入浴も可能である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活習慣を尊重している。日中に活動し夜間良眠していただけるよう支援している	利用者の生活習慣を尊重している。日中に活動し夜間良眠していただけるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルや体温板、連絡ノート、申し送り等で全員が確認できるようにしている。	薬ファイルや体温板、連絡ノート、申し送り等で全員が確認できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴を把握し、喜びある日々を過ごせるよう支援している	利用者の生活歴を把握し、喜びある日々を過ごせるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コミュニケーションを図り、戸外での生活を促している。	コミュニケーションを図り、戸外での生活を促している。	外出は、家族同伴のもと自由に可能である。毎月、季節に応じた花見等の外出行事を行っている。外出行事には家族も参加可能である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所説明時に金銭や貴重品は、施設に持ち込まないように話しをしている。	入所説明時に金銭や貴重品は、施設に持ち込まないように話しをしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は施設の電話を使っていたい	希望時は施設の電話を使っていたい		

自己	外部	項目	自己評価(2階ユニット) (事業所記入欄)	自己評価(3階ユニット) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に沿った塗り絵、貼り絵を取り入れたり、飾り付けをしている。照明もぬくもりのあるものを使用している	四季に沿った塗り絵、貼り絵を取り入れたり、飾り付けをしている。照明もぬくもりのあるものを使用している	近代的な建物であり備え付けの建具の配置等に利便性を考慮したつくりとなっている。採光が考慮されており、明るく広い暖かみを感じる共有空間となっている。清掃も行き届いており衛生的な環境である。入居者と職員が作成した作品が飾られており季節感を感じることが出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間には利用者個人の空間があり、また少人数で語り合う場も設けている	共有空間には利用者個人の空間があり、また少人数で語り合う場も設けている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が心地よく生活していただけるよう危険物以外は自由にしている	利用者が心地よく生活していただけるよう危険物以外は自由にしている	居室は家具等の私物の持ち込みが自由であり家族と入居者で自由に配置が可能である。居室入口には入居者の似顔絵が飾られており、入居者は、居室の視認と安らぎを得ることが出来る。全居室にトイレが設置されており排泄支援時のプライバシーの確保とトイレでの入居者自らの排泄を行う上で役立っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活ができるよう支援・工夫している	自立した生活ができるよう支援・工夫している		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない